

交流で、農村の良さを都会のみんなへ!!

活動の経緯

土地改良区の設立を契機に、自然環境の保全に配慮した圃場整備事業や生態系保全状況を都会の人にも知ってもらいたいという意見があり、都市農村交流活動への機運が高まった。

那須烏山市は、従来から豊島区との間で防災協定を結ぶなどの交流があったことから、その接点を生かしてH17年に都市農村交流活動が始まった。

活動の概要

豊島区民との交流で、川遊び、カブトムシ捕り、農産物の収穫体験などを通じて農村の良さを体験。



JR 烏山線で小埤駅（無人）下車



カブトムシ捕りは親が真剣

活動の成果、主な実績等

H17年から豊島区民を対象として「自然に触れよう!! いなか川遊び」を実施、R元年で14回目。体験では、川遊び（釣り、スイカ割り、化石探し等）、カブトムシ捕り、トウモロコシ・ジャガイモ収穫とヒマワリ迷路探検の3つを実施。参加者は田舎体験をする中で、那須烏山市民との交流を深めた。

H14年から生き物調査及びびまたるの観察会を実施し、ホテルや貴重な植物や生物の保全につながった。また、R3年1月に農村の伝統文化「どんど焼き」を通じた交流を計画している。

活動を通して、役員・組合員間及び参加者等のコミュニケーションが図られ、年々高齢化する組合員の活性化につながり、ホームページや広報誌等で活動状況を発信することで、組合員の意欲向上、多面的機能や地域資源保全に対する地域住民の理解が深まった。